



七尾市議会議員

未来を創る 市民生活を守る、責任ある七尾市政を。

やまざき

山崎

ともゆき

七尾市議会
12月会議報告

コロナ禍の財政を質す。

44回目の一般質問。令和3年度の予算編成に向けて、新市長に「コロナ禍における財政運営」について、問い質しました。

1. 小中学校の給食費無償化は？

2億1000万円の財源が必要で、新市長が選挙で訴えた財源1億円では実施困難。一体である保育園副食費（おかず代）4000万円も含めて、実現には2億5000万円が必要。

「ガバメントクラウドファンディング」（目的別ふるさと納税）、により、安定的に数億円の財源を確保できるかは未定。

2. 市長給与の見直しは？

市長給与の削減公約について、

「給与2割削減」

「退職金減額なし」

と答弁。しかし、現在実施中の

「給与1割削減」を「1年延長」

する追加議案を提出し、成立。

給食無償化
実現可能か
山崎智之氏（灘会） 保育園の副食費を含め、給食費無償化には2億5千万円が必要だ。
茶谷市長 目的は子育て世帯支援で、無償化は手段だ。目的のため最善の方法を検討したい。
山崎氏 投資ファンドを入れてアリーナを整備する考えなのか。
茶谷市長 あくまでも今後の思い。実現できるよう協議したい。



令和2年（2020年）12月9日（水）

北國新聞 朝刊 25面

「談合疑惑」は虚偽、市の手続は「合法」

新市長の後援会資料が、新ゴミ処理場の建設について「談合疑惑」と糾弾していた問題。議会質問にて新市長は「七尾市の手続は合法」「一部資料が不適切」と答弁。虚偽資料を配布したことに対して、刑法・公選法違反の恐れがあり、市民への説明責任を強く求める。しかし、新市長は「選挙前の資料」として、詳細な答弁を拒否した。

ゴミ処理場に関する、新市長の資料「談合疑惑」と調査「事実」

疑惑内容	新市長の資料(誤)	事実確認(正)
予定価格の公開	非開示・非公開	令和元年10月31日に事前公開
入札参加資格	特殊な入札条件で競合他社不可能	複数業者の参加資格
地域訪問	「異例」である	技術提案書作成へ「必要」な作業
輪島・穴水の施設整備	3者参加・落札率88%	2者参加・落札率91%

財産譲渡に地元合意を

「市財産の民間譲渡」議案を賛成1、反対15で否決。

譲渡同意の条件として、地元の合意と、隣接区域の境界線明確化を、新市長に強く求める。

印鑑登録に、女性などへの配慮を

「印鑑登録・証明に関する条例」が改正。

@「旧姓」の記載が可能に ※手続必要

@「性別」の項目が削除へ

また、マイノリティへの対応について、今後の政策課題として窓口サービスなど、論点整理の必要性を提案する。

「議員辞職勧告」決議・全会一致で成立

議会棟で現職市議が現行犯逮捕された事件を受け、政治倫理条例に基づいて最も重い「議員辞職勧告」決議を全16市議（議長をのぞく）の賛成で可決。市議会の信頼回復へ引き続き地道に、議会・市政活動を。